

資料編

コンプライアンスの取り組み状況に関する調査

平成 15 年 10 月

日本製薬工業協会

会員会社名	
-------	--

資料：企業アンケート調査票

以下の設問ごとに、右側の欄から回答を選び番号を○で囲んでください。

(1) ご回答をいただく部署と貴社の従業員数について

<p>①今回のアンケートにご回答頂く部門(部署)をご記入下さい。</p>	<p>1. コンプライアンス専任部門 (企業倫理室、コンプライアンス室等)</p> <p>2. 法務部門</p> <p>3. 経営企画部門</p> <p>4. 人事部門</p> <p>5. 広報部門</p> <p>6. 総務部門</p> <p>7. その他 ()</p>
<p>②従業員数を選択して下さい。</p>	<p>1. 1000 人未満</p> <p>2. 1000 人以上 3000 人未満</p> <p>3. 3000 人以上</p>

(2) コンプライアンスに関する基本的取り組み状況について

<p>①コンプライアンス・プログラムとしてどのような規定を明文化していますか (2から4について複数回答可)</p>	<p>1. 明文化された規定はない→③へ</p> <p>2. 法令遵守や倫理的活動のための全社の方針(ポリシー)</p> <p>3. 倫理やコンプライアンスに反しない行動を行うための、企業活動のさまざまな場面での具体的な行動について記載されたマニュアル(行動規準)</p> <p>4. その他()</p>
<p>② 貴社においてコンプライアンス・プログラムを設けた目的のうち最も重要と考えるものをお答えください。</p>	<p>1. 消費者や地域住民に対する義務を果たす上で必要</p> <p>2. 株主に対する義務として公正な会社の運営が必要</p> <p>3. 企業内に不正があると会社の存続に関わる問題となるから</p> <p>4. その他()</p>
<p>③ コンプライアンスオフィサー(コンプライアンス責任者)が任命されていますか。任命されている場合そのポジションを選択して下さい。</p>	<p>1. 任命していない</p> <p>2. 社長</p> <p>3. 役員等</p> <p>4. 部門長・部長等</p> <p>5. その他()</p>
<p>④ コンプライアンス担当部署が明確に規定されていますか。明文化されている場合その担当部署を選択して下さい。</p>	<p>1. 明文化していない → (3) へ</p> <p>2. 法務担当部署</p> <p>3. 人事担当部署</p> <p>4. コンプライアンス専任部署(企業倫理室、コンプライアンス室等)</p> <p>5. その他()</p>
<p>⑤ コンプライアンス担当部門は、社長直属組織とすることなどにより、独立性を保持していますか。</p>	<p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p> <p>3. どちらともいえない</p>

(3) コンプライアンス・プログラムの維持やコンプライアンス・プログラムの従業員への徹底方法について

<p>① コンプライアンス・プログラムを策定済みの場合、その見直しに関する規定が存在しますか。</p>	<p>1. 規定により1年以内ごとに見直す 2. 規定により3年以内ごとに見直す 3. 規定により約3年超ごとに見直す 4. 周期は決めていないが見直しの規定がある 5. 特に見直しについては規定されていない</p>
<p>② 過去コンプライアンス・プログラム策定後、見直しを実際に行いましたか。</p>	<p>1. 過去1年以内に見直した 2. 過去3年以内に見直した 3. 過去3年以内に見直していない(コンプライアンス・プログラム策定後3年超の場合) 4. 過去3年以内に見直していない(コンプライアンス・プログラム策定後3年以内の場合)</p>
<p>③ 従業員に対してコンプライアンスを浸透させる手段として貴社で行っている事項を選択して下さい。(複数回答可)。</p>	<p>1. コンプライアンスに関する教育研修 →④～⑧についてもお答えください 2. 社内規則・規定やマニュアル等の内容を認識し違反していないことについて定期的に文書等で誓約を求める 3. 定例会議等においてコンプライアンスに関する課題共有や議論を行う 4. 社内報等による意識付けのための情報発信 5. 法令遵守メッセージの発信 →⑨についてもお答えください 6. 人事考課への反映 →⑩についてもお答えください 7. その他 ()</p>
<p>④ 従業員に対するコンプライアンス教育研修の対象者と研修プログラムについてお答えください(複数回答可)。</p>	<p>1. 全従業員について一律に実施する教育研修がある 2. 部門ごとに実施する教育研修がある 3. 役職ごとに実施する教育研修がある 4. 採用時に実施する教育研修がある 5. 昇格・昇進時におこなう教育研修がある 6. その他 ()</p>

<p>⑤ <u>営業部門の従業員</u>に対するコンプライアンス教育研修の実施対象者一人あたりの<u>年間平均実施時間</u>をお答えください。</p>	<p>1. 不定 2. 1時間未満 3. 1時間以上4時間未満 4. 4時間以上8時間未満 5. 8時間以上16時間未満 6. 16時間以上</p>
<p>⑥ <u>営業部門以外の従業員</u>に対するコンプライアンス教育研修の実施対象者一人あたりの<u>年間平均実施時間</u>をお答えください。</p>	<p>1. 不定 2. 1時間未満 3. 1時間以上4時間未満 4. 4時間以上8時間未満 5. 8時間以上16時間未満 6. 16時間以上</p>
<p>⑦ 従業員に対するコンプライアンス教育研修の実施方法についてお答えください（複数回答可）。</p>	<p>1. パソコン・ネットワーク等を使用したシステム 2. テキスト 3. 講義形式 4. 参加型の演習 5. その他（ ）</p>
<p>⑧ 研修の内容はどのようなものですか（複数回答可）。</p>	<p>1. 倫理やコンプライアンスの必要性 2. 法令、規則の内容 3. 違反事例や優良事例等のケーススタディ 4. ロールプレイングや仮想演習 5. その他（ ）</p>
<p>⑨ 従業員に対する法令遵守メッセージの発信者を選択してください（複数回答可）。</p>	<p>1. 社長名で発信 2. コンプライアンスオフィサーまたはコンプライアンス責任者(社長以外の場合)名で発信 3. コンプライアンス担当部署名で発信 4. その他（ ）</p>
<p>⑩ 人事考課において評価するコンプライアンスの項目は何ですか（複数回答可）。</p>	<p>1. コンプライアンス研修の履修 2. 規定遵守不履行項目の削減 3. その他（ ）</p>

(7) 子会社・関連会社や取引先企業に対するコンプライアンスの考え方について

<p>① 子会社や関連会社に対してどのようにコンプライアンス・プログラムの適用を求めますか。</p>	<p>1. 自社と同等レベルのコンプライアンス・プログラムの適用を求める 2. 子会社・関連会社の自主的な対応に任せる 3. その他 ()</p>
<p>② サプライヤー、卸先等の取引先選定の際にコンプライアンスへの取り組みを評価していますか。</p>	<p>1. はい 2. いいえ</p>
<p>③ コンプライアンス・プログラムの中には、関係する取引先の不正等に対する対策が含まれますか。</p>	<p>1. はい 2. いいえ</p>

従業員に向けたコンプライアンス浸透状況調査実施意向について

コンプライアンス・プログラムが実効性を発揮するためには、従業員の方々にその趣旨が徹底され、コンプライアンスに関する意識が高まることが必要と考えられます。製薬協では、会員企業のご協力により、別紙「コンプライアンスに関する従業員アンケート案」のような製薬企業従業員向けのアンケート調査を平成16年1月に行うことを計画しております。

このようなアンケート調査を行う場合、貴社でご参加いただくことができるかについてご回答ください。

1. 参加する
2. 参加しない

従業員コンプライアンス意識アンケート¹【企業番号 XX²】

以下の設問ごとに、右側の欄から回答を選んで番号を○で囲んでください。

(1) 年齢、性別、所属部門、役職、勤務年数についてお答えください。

①年齢	1. 25歳未満、 2. 25歳以上30歳未満、 3. 30歳以上40歳未満、 4. 40歳以上50歳未満、 5. 50歳以上
②性別	1. 男性、 2. 女性
③所属部門	1. 研究開発部門、 2. 製造部門、 3. 営業部門、 4. 管理部門、その他
④役職等	1. 部、部門等の長または次長 2. 課、係等の長または管理者 3. 一般従業員
⑤勤務年数	1. 1年未満、 2. 1年以上3年未満、 3. 3年以上10年未満、 4. 10年以上20年未満、 5. 20年以上

(2) コンプライアンス(法令遵守)の意義と勤務先企業の取り組みについてお考えをお答えください。

① 企業において倫理やコンプライアンスを徹底するための仕組みが求められる理由として何が最も重要と思われますか。	1. 消費者や地域住民に対する義務 2. 株主に対する義務として公正な会社の運営が必要 3. 不正が発覚すると会社の存続に関わる問題となる 4. 分からない 5. その他
② 勤務する会社には倫理やコンプライアンスを徹底するための有効な仕組みが確立されていると思いますか。	1. 十分確立されている 2. 確立されているが不十分である 3. 確立されていない

(3) 自社のコンプライアンス規定に関する認識と評価についてお答えください。

① 勤務先の会社には倫理やコンプライアンスに関する全社的な方針が文書で規定されていますか。	1. はい 2. いいえ →③へ 3. 分からない →③へ
② ①の全社的な方針の内容についてよく知っていますか。	1. よく知っている 2. おおむね知っている 3. あまりよく知らない

¹ 紙によるアンケート様式。インターネットを通じたアンケートの場合も質問項目は基本的に全て同じであるが、その他を選択した場合に文字入力による自由回答ができる点が異なる。

² XXはあらかじめ企業ごとに振った識別番号。

<p>③ 勤務先の会社には倫理やコンプライアンスに反しない行動を行うための、企業内のさまざまな活動の場面での具体的な行動について記載したマニュアル（行動規準）がありますか。</p>	<p>1.はい 2.いいえ →⑧へ 3.分からない →⑧へ</p>
<p>④ ③のマニュアルの内容についてよく知っていますか。</p>	<p>1.よく知っている 2.おおむね知っている 3.あまりよく知らない →⑧へ</p>
<p>⑤ ③のマニュアルの構成（記載項目の範囲）についてどのように思いますか。</p>	<p>1.企業内の活動でコンプライアンスや倫理面での疑問がある場合について網羅的に記載されている 2.記載項目が不十分なため疑問があるケースに対応しきれない 3.その他</p>
<p>⑥ ③のマニュアルの記述内容についてどのように思いますか。</p>	<p>1.具体的で分かりやすい 2.具体性がなく分かりにくい 3.その他</p>
<p>⑦ 実際の業務を遂行する上で③のマニュアルの内容について、どのように思いますか。</p>	<p>1.厳守することは当然である 2.状況によってはすべて遵守することが難しい場合がある 3.すべて遵守していたのでは社内の業務が円滑に進まない 4.その他</p>
<p>⑧ コンプライアンスに関する社内の規定等について、定期的にその内容を認識していることを文書で会社に提出していますか。</p>	<p>1.はい 2.いいえ</p>

(4) コンプライアンスに関する教育やトレーニングの状況についてお答えください。

<p>① あなたは最近1年間にコンプライアンスや企業倫理について教育やトレーニングを何時間受けましたか。</p>	<p>1.なし → (5)へ 2.1時間未満 3.1時間以上時間未満 4.4時間以上8時間未満 5.8時間以上16時間未満 6.16時間以上</p>
--	--

② 受けた研修の内容はどのようなものですか（複数回答可）。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 倫理やコンプライアンスの必要性 2. 法令、規則の内容 3. 違反事例や優良事例等のケーススタディ 4. その他
③ 研修やトレーニングの方法はどのようなものですか（複数回答可）。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 資料やテキストを読む 2. 講師による講義 3. パソコン等を使用した教育 4. ロールプレイングやケースに基づく討議 5. ビデオなどの視聴 6. その他
④ コンプライアンスや企業倫理に関する教育やトレーニングの効果についてどのように思われますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 十分効果がある 2. どちらかといえば効果がある 3. あまり効果がない 4. その他

(5) コンプライアンスに関する疑問が生じた場合、違法行為を見つけた場合の対応についてお答えください。

① 社内の身の回りで違法行為かどうか判断に迷うような問題があった場合どのように対応しますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 上司に相談する→③へ 2. 職場の同僚に相談する→③へ 3. 社内の法務担当やコンプライアンス担当に相談する→③へ 4. 相談はしない
② 相談しない場合その理由は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 上司や同僚に相談内容を知られたくない 2. 相談相手として信頼できる対応が望めない 3. 気軽に相談できる雰囲気がない 4. その他
③ 社内の身の回りに法令違反や倫理上問題がある行為があることを知った場合にどのように対応しますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 会社が指定する通報窓口（社外に設けられている場合を含む）に報告する→(6)へ 2. 上司に報告する→(6)へ 3. 社内の法務担当やコンプライアンス担当に報告する（会社が通報窓口として明確にこれらの部署を指定している場合は1を選択してください）→(6)へ 4. 社外（会社が設けた通報窓口以外）に通報する 5. どこにも報告しない

<p>④ 社内に報告しない場合その理由は何ですか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社内での報復的な扱いが心配 2. 信頼できる対応が望めない 3. 企業の不正が問題になれば結果として自分の利益にもならない 4. その他
-------------------------------	--

(6) 企業において、不正行為や倫理に反する行為を防止するためにはどのような点を改善することが有効と思いますか。

<p>企業において、不正行為や倫理に反する行為を防止する上で特に有効と思われる項目について<u>3つまで</u>お答えください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営者がより社内の現場の業務実態をよく知り積極的に問題解決に関わる 2. 従業員の法令遵守意識を今まで以上に高める 3. 従業員が法令についての知識・認識を深める 4. 職場の幹部（部長・課長等）が法令についての知識を深める 5. 法令や倫理に関し気軽に相談できる窓口を設ける 6. 不正通報の仕組みを設ける 7. 社内のコミュニケーションを円滑にする 8. 罰則規定の厳格な適用 9. その他
--	--

(7) 自社と自身のコンプライアンスに対する信頼についてお答えください。

<p>① あなたの会社は法令や規則の違反に対して毅然とした態度で臨んでいると思いますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ 3. どちらとも言えない
<p>② あなたの上司や職場の同僚は法令や規則の違反に対して毅然とした態度で臨んでいると思いますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ 3. どちらとも言えない
<p>③ あなた自身は法令や規則の違反に対して毅然とした態度で臨んでいると思いますか</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ 3. どちらとも言えない